

## プロジェクトについて

きぼうときずなは、東京大学名誉教授の大橋靖雄(写真右)が理事長を務める NPO 法人日本臨床研究支援ユニットが東日本大震災直後に立ち上げた医療支援プロジェクトで、主に福島県を中心に被災住民への支援活動を続けています。

自治体(いわき市・富岡町)からの健康支援業務委託契約、復興庁事業の実施など聖路加国際大学をはじめとした様々な組織・団体との協力のもとで支援活動を続けています。

参議院議員・保健学博士の石井苗子(写真左)をプロジェクトリーダーとし、被災された住民の方々の心身の健康をケアする直接的支援を基盤とし、被災地ならず全国の地域医療の再構築を目指しながら活動を展開しています。



 **きぼうときずな**  
プロジェクト



## 寄付のお願い

きぼうときずなは、2012年4月よりいわき市および富岡町からの業務委託を受け、健康支援を継続しています。しかしながら、被災や避難生活により影響を受けた福島県住民の方々への支援には、地域医療の再構築を含めた長期的展望が不可欠であると考えます。今後ますます必要となる包括的かつ長期的支援を実現するため、費用調達のための寄付をお願いする次第です。何卒宜しくお願い申し上げます。

きぼうときずな代表  
大橋 靖雄

## 寄付口座

東京都民銀行本店営業部支店  
口座番号：普通 4123511  
名 義：きぼうときずな  
代表 大橋靖雄

## きぼうときずな

Hopes & Connections



東日本大震災

医療支援プロジェクト



きぼうときずな  
プロジェクト

<http://kiboutokizuna.jp>





## 活動内容

### 2011 年度

郡山市ピックパレット避難所で支援活動を開始。仮設・借上住宅への戸別訪問活動では保健師・看護師延べ1,075名を派遣、訪問世帯は8,896件に上る。

### 2012 年度

いわき市、富岡町との健康支援事業の契約を締結。仮設・借上住宅の戸別訪問活動、地域交流会への参加等による支援活動を実施。

### 2013～2015 年度

自治体と契約を更新。相双保健福祉事務所いわき出張所と新たな健康調査に着手。

復興庁事業として、食と健康を組み合わせた健康増進プログラムを主催。被災地間及び被災住民と東京の学生との交流促進という要素を加え、復興の主役たる住民の、心身の健康をサポートすることに着目した活動を展開。

### 2016 年度

自治体と新規事業（がん精密検査受診勧奨）を開始。復興庁事業「心と体の栄養復興プロジェクト」を継続。被災住民の手作り手芸品を東京で販売。新たな啓発活動として、スーパーマーケットでの無料健康チェック及び健康相談を実施。

理想の地域医療の実現を目指し、地域に密着した活動を継続中。

## 連絡先

NPO 法人  
日本臨床研究支援ユニット  
きぼうときずな事務局

〒101-0021  
東京都千代田区外神田 2-19-3  
お茶の水木村ビル 2F

電話番号：0120-778-538  
(受付時間 10:00～17:00)



きぼうときずな



韓国俳優ベ・ヨンジュン氏寄贈医療支援車

